

豊かで充実した老後を 漁業者国民年金基金 漁業者年金

ひとりとは万人のために、万人はひとりのために

拓水

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会(財) 兵庫県水産振興基金
神戸市兵庫区中之島 2-2-1
TEL 681-6954~7
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

「山田記念賞」の創設

財団法人 兵庫県水産振興基金



受賞された皆さん(後列は受賞者の夫人)



挨拶を述べられる貝原(県知事)理事長

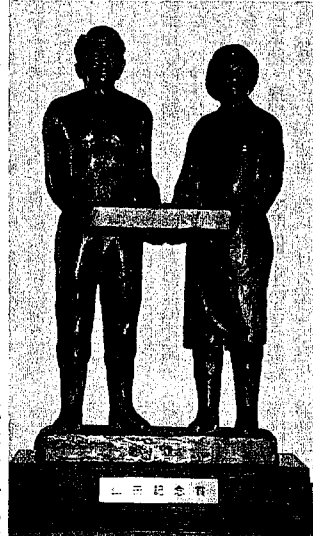
式典は、右のとおり執り行われ、貝原理事長から各受賞者にプロンズ像が贈呈されました。



オープニング・テープカットの様



約1万人の来場者でにぎわう会場内



山田記念賞のプロンズ像(全高53cm・重量13kg)

小南氏ら3名・2グループが受賞

永年にわたり本県水産業の振興発展に尽くされ、昨春秋、世界されました山田岸松氏のご功績を記念し、財団法人 兵庫県水産振興基金では、今年度から、「山田記念賞」を創設、一月二十七日、ホテルシエナで第一回の贈呈・祝賀会が、貝原理事長はじめ県下各地から漁業関係者一〇〇余名の出席のもと盛大に開催されました。

この賞は、故山田岸松氏が水産業の発展に託された夢を表現する(功)男女漁業者立像(ブロンズ像)であり、「兵庫県水産賞」受賞者並びに活動実績発表大会で優秀な成績を収められた漁協若年部・婦人部に贈られるものであります。今回の受賞者は、次の皆さんです。【山田記念賞】受賞者【兵庫県水産賞受賞者】

▽高砂漁業協同組合 理事 小南慶三さん(六二才) 〇香住町漁業協同組合 前理事 谷岡 薫さん(五七才) 〇兵庫県漁協婦人部連合会 会長 播磨よし子さん(六七才) 〇活動実績発表大会で優秀な成績を収められた漁協若年部・婦人部) 〇津居山青年水産会(発表課題) 日本海ク

【プロンズ像を制作された廣部兵三氏】神戸市在住の彫刻家として、県下において幾多の彫像を手掛けた。私たちが魚食普及活動・ステップアップをめざして、今年度の春、淡路五色町に建立された「瀬戸内少年野球団像」を制作されるなど幅広く活躍されています。廣部さんは、今回の作品に天が恵みを与え「天与」と命名されました。

第一部 贈呈式 開会 山田記念賞の発表 経過報告 遺族への贈呈 制作者の紹介 受賞者の紹介と山田記念賞の贈呈 挨拶 財団法人 兵庫県水産振興基金理事長 貝原 俊 県知事 来賓祝辞 兵庫県漁業協同組合連合会 酒部 龍三 会長理事 受賞者代表謝辞 高砂漁業協同組合 小南 慶三 理事 閉会 祝賀会 第二部 祝賀会

ガザミふやそう会5周年記念事業開催 昭和六一年一月に、抱卵ガザミおよび稚ガザミ(甲幅長二二以下)の保護運動に積極的に取り組んできた「ガザミふやそう会」が今年度で設立五周年を迎えられ、これを記念して同会と揖保播磨地区漁業協会の松岡理事を議長に、第二部の意見交換会へと移った。まず、参加した各府県からガザミ資源管理の現状を報告し、活発な意見交換の後、次の六項目について大会決議がなされ、サミットは盛会のうちに終了した。

ガザミふやそう会5周年記念事業開催

「あながが船主「ナー」など多彩な催しが大々に行われた。開会の午前二時にはオープニング・セレモニーとして、主催者および後援・協力団体(兵庫県、姫路市、兵庫県漁連、(社)播磨漁友会、播磨漁連連、姫路市漁民組合連合会)によるテープカットが行われ、既にオープニング前から会場に詰めかけていたおよそ一万人近くの来場者が一斉に、既にオープニング前四時まで販売する予定がおよそ一時間で売り切れた。また他のコーナーにおいても、ほとんどものが午前中で完売し、フェスティバルは大盛況のうちに閉幕した。

水試ノート

瀬戸内海はマダイの放牧場

マダイは見届くらしい海の幸として漁業者のみなならず国民の最も親しまれる魚の王様です。特に本県瀬戸内海で漁獲されるマダイは「瀬戸内海東部群マダイ」と呼ばれるグループで、古来より明石鯛のブランドで有名です。栽培漁業の対象種としても早くから手がけられ、本格的な資源調査も放流と同時期に始まりました。昭和四八年

以来近隣の府県との共同調査が開始され、昭和六三年度からは資源管理のための資源増殖管理推進対策事業、略して「シバカン」が実施されていることはよくご存知のことと思います。

さて戦後四〇年間の瀬戸内海東部群マダイの漁獲量の変化を図一に示しました。昭和四六年を境にきれいな左右対称形をしていま

漁海況情報

平成三年一月 兵庫県立水産試験場

海況

明石海峡周辺 旬平均水温は上旬二〇・五℃、中旬一八・六℃を示しており、平年に較べて上旬は〇・六℃高目、中旬は〇・二℃高目である。

大阪湾西部・紀伊水道北部 一月一八日の調査結果によると大阪湾の表層水温は一八・四〜二〇・〇℃の範囲にあり、ほぼ平年並みとなっている。また紀伊水道北部の表層水温は一九・四〜二一・一℃の範囲にあり、中央部では平年より一℃程度高目、沿岸部ではほぼ平年並みの水温となっている。

尾程度ですが、その六〇％が〇歳魚(カスゴ)で占められ、一尾当りの平均体重はなんと一五〇gにしかありません。当然単価もぐっとお安くなります。昔はそれだけの魚が獲れたので、昭和の初めまでは白砂青松の瀬戸内海に王さんという研究者がいました。王さんは広島魚市場に水揚げされるマダイの年齢を調べ、その

結果を学会に報告しています。それによると当時〇歳魚は市場にはなく、三歳魚が最も多くを占め、一尾当りの平均体重はなんと二七〇gに達していました。これは生れつた年の八月頃体長一〇cm前後のカスゴに換算)は、その頃と現在とあまり変わらないうことでも信じていいことかもしれません。瀬戸内海東部でマダイが最もよく獲れていた大正から昭和初期には、一〇cmサイズで一、〇〇〇尾弱の稚魚を元手に毎年一、五〇〇トン、尾数にして七五万尾、

海区漁業調整委員会だより

一月二六日 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会協議会を開催(中央労働センター)

一月二六日 岡山・兵庫県瀬戸内海連合海区漁業調整委員会に係る入会協定内容について

平成四年二月神戸市で開催予定の連合委員会における協定内容に

今、農協・生協では

兵庫JCC通信

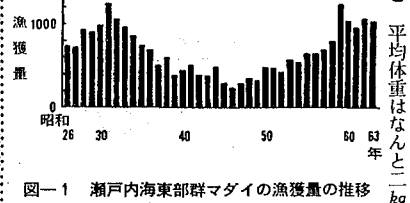
農協協同組合 高齢者介護に対応 農協の担当者熱心に研修

農産物高騰化が進むなか、農協による介護機器の供給と相談体制づくりをめざす「介護

用品・機器アドバイザー研修会」(主催)兵庫農協中央会、兵庫県農協連合会、兵庫県農協連合会が一月二二〜二三日の二日間、県農協会館で開かれまし

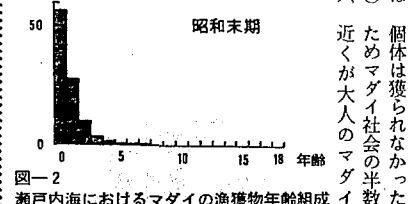
兵庫県では、六五歳

図一 瀬戸内海東部群マダイの漁獲量の推移



もありません。そして王さんの調査結果を詳しく分析してみると、驚くべきことが分かってきました。漁獲の元手となる稚魚の数(この月は生れつた年の八月頃体長一〇cm前後のカスゴに換算)は、その頃と現在とあまり変わらないうことでも信じていいことかもしれません。瀬戸内海東部でマダイが最もよく獲れていた大正から昭和初期には、一〇cmサイズで一、〇〇〇尾弱の稚魚を元手に毎年一、五〇〇トン、尾数にして七五万尾、

図二 瀬戸内海におけるマダイの漁獲物年齢組成



というが実態です。元手は同じでなぜこうも違うか、その理由は図二に示されています。すなわち昔は若い個体は獲られなかったためマダイの半数近くが大人のマダイ以上が〇歳魚といつたのが普通になったのです。人間社会にたとえれば最近の我が国の高齢化とは逆に、幼児ばかりで成熟した大人をさがすのにひと苦労といったところでしょうか。今や我々は海の魚を獲り尽くすほどの能力を手にいれてしまっています。加えて眼の前に

関係委員が地元意見を聞き一月委員会を審議し他海区に通知する。三、第二六回全国海区漁業調整委員会西日本ブロック委員会の報告

二月二日高知市で開催。当海区要望の三課題と高知海区の課題が全国段階に上げることが決定された。

二月二日 第二二回但馬海区漁業調整委員会を但馬水産事務所会議室で開催

一、小型いかり漁業の許認可取扱方針について

以上の人が人口の約一割を占め、農協組合員の家庭でも獲れなくなりが増え、家族の介護が深刻な問題になっています。

今回の研修会は、兵庫県の農協として初めて開いたもので、介護を必要とする人の状態や必要とする人の介護力に合わせた機器の選定、的確な情報提供など、組合員による相談相手となるアドバイザーを養成するのアドバイザー研修会では、医療器メーカー(株)多比良が、今年から生協「アピール」月間と名称をあらため、生協をひろく社会にアピールすることにしました。

各地で生協まつり 各地区で生協まつり 毎年一月、二月は生協法施行日(昭和二三年一月一日)にちなんで、全国の生協が様々な取り組みを行った生協強化月間を行いました。

兵庫県の西部では、播磨生協が一月一六日、龍野市民会館で『虹のつどい』を開催。龍野小学校吹奏楽クラブの演奏や落語などを楽しみました。

ロビーでは生協の活動を紹介するパネル展示やユニセフ手作りパネルなどが行われ、この日の入場整理券の売上げで、車椅子

協の発展を祝う催しを開催しました。コープこうべは、第一地区から第八地区まで県下八つの地域ごとで生協まつりを開催しました。第七地区では、一〇月二〇日、兵庫県漁協連と神戸市西農協との協力で「協同組合まつり」を開催。会場は明石公園一帯に、約五万二千人の組合員が集まり、野菜の卸売会、魚拓教室、大ビンゴ大会やガレージセールなどの催しを行いました。兵庫県の西部では、

編纂部のミスにより先月号(No.四二二)の左記の二点が誤っており、訂正いたします。

①(一面)連邦漁業代表団訪日(懇談会)の開催日

②(四四)栽培漁業センターです

③(兵生協 吉岡)

④(兵裁協 吉岡)

広がる大阪湾や播磨灘はあまり広くないえ海底も平坦で高も少なく、乱獲に陥りやすい海といえます。これからは視点を変えて、瀬戸内海という仕切りのない天然の生質にマダイを放牧するという考えたらどうでしょうか。彼らは仕切りの外に逃げ出すこともなく、独自にそして永続的に子孫を産み成長してくれま

た。問題はいつ頃かれ位出荷するかということ。商売上手な経営者ならまさかカスゴで出荷しようなんて誰も思わないでしょう。

た。加えて眼の前に